

令和7年度 農作物病害虫発生予察 1月月報

令和8年(2026年) 2月2日
山口県病害虫防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気温 (°C)								
	平均			最高			最低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
1.1	3.0	4.8	△ 1.8	8.2	10.0	△ 1.8	-0.9	0.6	△ 1.5
1.2	5.5	4.7	0.8	11.8	9.7	2.1	-0.1	0.6	△ 0.7
1.3	4.8	4.6	0.2	11.0	9.4	1.6	-0.2	0.5	△ 0.7
1.4	8.2	4.4	3.8	16.0	9.2	6.8	2.1	0.4	1.7
1.5	2.1	4.1	△ 2.0	6.0	9.0	△ 3.0	-1.4	0.2	△ 1.6
1.6	3.2	4.1	△ 0.9	9.0	9.2	△ 0.2	-2.0	0.0	△ 2.0
平均・計	4.5	4.5	0.0	10.3	9.4	0.9	-0.4	0.4	△ 0.8
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
1.1	1.5	9.8	△ 8.3	17.7	19.5	△ 1.8			
1.2	0.0	11.3	△ 11.3	28.0	19.0	9.0			
1.3	2.0	12.7	△ 10.7	25.4	18.4	7.0			
1.4	0.0	13.4	△ 13.4	35.2	18.0	17.2			
1.5	5.0	14.0	△ 9.0	26.0	18.2	7.8			
1.6	0.0	15.6	△ 15.6	39.6	23.2	16.4			
平均・計	8.5	76.8	△ 68.3	171.9	116.3	55.6			

II 作物の生育状況

- (1) イチゴ : 「かおり野」では1番果の収穫が終了、2番果の収穫が徐々に始まっており、3番果は出蕾、開花している。
着果負担により一時草勢低下が見られたほ場があったが、回復傾向となっている。

III 病害虫の発生状況

1 野菜

2026年1月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イチゴ (調査ほ場数:20) 灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年13.0%)、発病株率0.1% (平年1.2%)、発病果率0.0% (平年0.2%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 5
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年11.0%)、発病株率0% (平年1.2%)、発病葉率0% (平年0.2%)、発病果率0% (平年0.1%)で平年に比べ少なかった。	—	—
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.5%)、発病株率0% (平年0.1%)で平年並みであった。	—	—
菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)、発病株率0% (平年0.0%)で平年並みであった。	—	—
灰疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年1.0%)、発病株率0.1% (平年0.0%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 5
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.0% (平年20.5%)、寄生株率13.4% (平年4.2%)で平年に比べ多かった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	甚 10 少 34 計 44
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率35.0% (平年38.0%)、寄生株率18.7% (平年12.1%)で平年並みであった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	甚 5 多 5 中 14 少 10 計 34
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年18.8%)、寄生株率0% (平年3.0%)で平年に比べ少なかった。	—	—
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)、寄生株率0% (平年0.0%)で平年並みであった。	—	—
シロイチモジョトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)、寄生株率0% (平年0.0%)で平年並みであった。	—	—
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年0.5%)、寄生株率0.1% (平年0.0%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 5
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年14.0%)、寄生花率0.2% (平年0.6%)で平年並みであった。 主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	中 5 少 5 計 10

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター(山口県病害虫防除所)

TEL (0835)28-1211(代)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp